

幾寅保育所お遊戯会に参加しました

10月26日(日) 保健福祉センターみなくるにて第35回幾寅保育所お遊戯会が行われ、支援センターを利用している親子6組が参加しました。今年は、練習時間も限られて十分に練習が出来ないので、親子の皆さんが知っている曲でお遊戯をしました。泣く子や緊張してお母さんにしがみつくと子もいなく、突然の参加のお子さんでも、とても楽しそうに上手に踊っていました。

お遊戯会に参加したことで、お子さんも自信がついたかと思えます。これからこのような経験は、保育所・小学校・中学校と続いていきます。これからいろいろな経験をしていくなかで第一歩になってくれれば良いと思います。

冬にかかりやすい病気～その1～

それぞれの季節に流行する病気があります。冬にかかりやすい病気について知っておきましょう。

乳幼児冬季下痢症(流行性おう吐下痢症)

【症状】ウイルスの感染が原因で突然のおう吐に続き、クリーム色もしくは、白色の水様便になり、時には脱水症状も起こります。潜伏期間は1日から3日。感染経路はおもに経口感染です。

【対応】下痢・おう吐を伴っているため水分補給が必要ですが、糖分の多いジュースや牛乳は下痢を悪化させるので、白湯や薄めたお茶などが良いでしょう。また、下痢を繰り返すので、おしりがただれやすくなります。ぬるめのお湯で洗ったりタオルで軽く拭き取るなどしましょう。感染を広げない為にオムツやタオルはポリ袋などに入れて処理し、石けんで手洗いをし消毒をしましょう。一日中吐き続けて、顔色も悪く、唇が乾いている、尿の量が少ないなどの症状があるときは、早めに病院に行きましょう。

このほかに皆さんご存じの【インフルエンザ】やのどの奥が腫れて熱が出る【クループ】などの病気があります。いずれも、発熱があり元気がない様であれば、病院に行き受診してください。特に乳幼児については、なるべく早めの受診をお勧めします。

冬の病気にかからないための予防

ウイルスは乾燥と冷気によって増殖します。室内の換気を十分にして一定の湿度と温度を保ちましょう。外出後は子どもも大人も、手洗い・うがいを必ずしましょう。

薄着で過ごし、風邪をひかない体づくりをしましょう。

子どもがぐったりしていたり、不機嫌あるいは病気の症状がみられたら早めに受診しましょう。

冬に多い病気の症状や対応、地域の情報を知りながら、予防をしていきましょう。

以上の事を基本にして、元気な体で長い冬を乗り切りましょう。

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所では、10月26日に第35回お遊戯会を開催しました。59名の子どもたちは、毎日練習して覚えたお遊戯や舞踊劇などを可愛い姿で楽しそうに踊ったり、歌や器楽演奏では、練習の成果を披露し、大勢のお客様からは大喝采でした。



金山保育所では、10月5日に第35回お遊戯会を開催しました。11名の子どもたちは、毎日練習して覚えたお遊戯や舞踊劇、歌などを楽しそうに披露していました。また、お父さん、お母さんによるお遊戯もあり、楽しいお遊戯会となりました。